2026 年 11 月 16 日

報道関係各位

ブルーイノベーション株式会社

送電線ドローン点検ソリューション「BEP ライン」、第 12 回ロボット大賞 優秀賞を受賞

～点検工数を最大約 64%削減。電力会社での導入と継続利用が評価～

ブルーイノベーション株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長 熊田 貴之、以下 ブルーイノベーション）は、送電線ドローン点検ソリューション「BEP ライン」が、「第 12 回ロボット大賞」において、優秀賞（社会インフラ・災害対応・消防分野）を受賞したことをお知らせいたします。

「BEP ライン」は、送電線との距離を一定に保ちながらドローンを自動追従飛行させる独自技術を活用し、従来の送電線点検に伴う高所作業のリスクや作業負担、熟練操縦者への依存といった課題の解決を図るソリューションです。

電力会社へのヒアリングでは、従来の作業員による送電線点検と比較して、点検時間を約 50%、作業人員を約 33%、点検工数を最大約 64%削減する効果が報告されています（※1）。また、送電線追従制御モジュールの販売実績は 30 台以上、サブスクリプションの利用実績は 20 件以上となり（※2）、複数の電力会社で導入・活用が進んでいます。

今回の受賞では、送電線点検の安全性・効率性・操作性の向上に加え、電力会社との共同開発から実用化、導入拡大、事業化へとつなげてきた取り組みが評価されました。

なお、11 月 18 日（水）には東京ビッグサイトで表彰式が開催され、同日から 20 日（金）まで開催される「スマートファクトリーJapan2026」の受賞ロボット合同展示において、BEP ラインの技術を紹介します。



BEP ラインによる送電線点検の様子と専用アプリ画面



送電線追従制御モジュール

※1：電力会社へのヒアリング結果に基づき、従来の作業員による送電線点検と比較した削減効果。点検対象や作業条件によって効果は異なります。

※2：2026 年 11 月現在の実績。送電線追従制御モジュールの販売台数およびサブスクリプション利用件数を示しています。

■受賞の概要

- 受賞名：第 12 回ロボット大賞 優秀賞（社会インフラ・災害対応・消防分野）
- 受賞対象：送電線ドローン点検ソリューション「BEP ライン」
- 受賞企業：ブルーイノベーション株式会社
- 表彰式：2026 年 11 月 18 日（水）
- 公式サイト：https://robotaward.jp/award-winning/bep-line/

■評価のポイント

今回の受賞では、電力インフラの維持管理に貢献する技術として、送電線点検の安全性・効率性・操作性を向上させた点に加え、電力会社との共同開発から実用化、導入拡大、事業化へとつなげている点が評価されました。主催者が公表した評価のポイントを、以下の 3 点に整理しました。

① 電力インフラの維持管理に貢献する技術

社会生活や経済活動を支える電力インフラの維持管理に必要な技術として、ドローンを活用した送電線点検の安全性・効率性向上に貢献していること。

② 独自技術による安全性・効率性・操作性の向上

送電線との距離を一定に保ちながら自動追従飛行を行う技術により、操縦者の熟練度への依存を低減し、容易な操作性と詳細な点検を実現していること。

③ 共同開発から社会実装・事業化への展開

東京電力ホールディングス株式会社、株式会社テプコシステムズとの共同開発を経て実用化し、東京電力の各支社をはじめ、他の電力会社への導入も進んでいること。また、特許による技術的優位性を確保するとともに、モジュール販売に伴うソフトウェアライセンス料収入など、事業化につなげていること。

■独自の送電線自動追従技術で、安全かつ効率的な点検を支援

従来の送電線点検では、作業員が送電線上を移動しながら確認する「宙乗り点検」や、ヘリコプターによる巡視、地上からのスコープによる目視点検などが行われており、高所作業に伴う安全リスク、作業負担の大きさ、コストの高さ、熟練者への依存などが課題となっています。

こうした課題に対してドローンの活用が進む一方、送電線は地形やたわみによって三次元的に変化するため、一定の距離を保ちながら飛行・撮影するには高度な操縦技術が必要です。

「BEP ライン」は、ドローンに独自の送電線追従制御モジュールを搭載し、送電線との離隔距離を高精度に計測することで、一定の距離を維持しながら自動追従飛行を行うソリューションです。

これにより、操縦者のスキルへの依存を低減するとともに、高解像度カメラによる近接撮影で、素線レベルの異常確認にも活用できます。

また、取得した画像・映像データを記録・共有することで、点検履歴の可視化や維持管理業務の高度化にも貢献します。

本技術は、東京電力ホールディングス株式会社、株式会社テプコシステムズと共同開発し、特許（特許第 7044293 号）を取得しています。

■導入実績と事業展開

BEP ラインは、電力会社等との共同開発・実証を経て実用化し、複数の電力会社で導入・活用されています。

提供形態としては、送電線追従制御モジュールの販売とソフトウェアライセンスの提供に加え、モジュールとソフトウェアを一定期間利用できるサブスクリプション方式も用意しています。これにより、お客様の運用形態や導入ニーズに応じた利用が可能となっています。

こうした取り組みを通じて、技術開発から実用化、販売、継続的なサービス提供へと事業展開を進めています。

■今後の展開

ブルーイノベーションは、今回の受賞を契機に、電力会社における BEP ラインの導入拡大と継続的な活用を推進してまいります。

具体的には、電力会社の点検手順への組み込みや導入拠点の拡大を進めるとともに、サブスクリプションによる継続利用を通じて、現場で安定的に活用できる点検手法としての定着を目指します。

さらに、将来的には取得・蓄積した点検データと AI 解析の連携も視野に入れ、点検業務の高度化や予兆保全につながる技術・サービスの発展を目指します。

ブルーイノベーションは、独自の統合プラットフォーム「Blue Earth Platform®（BEP）」を基盤に、社会インフラの維持管理における安全性・生産性の向上に貢献してまいります。

■「スマートファクトリーJapan2026」で受賞ロボット合同展示を実施

2026 年 11 月 18 日（水）～20 日（金）に東京ビッグサイトで開催される「スマートファクトリーJapan2026」では、「第 12 回ロボット大賞」の受賞ロボット合同展示が行われます。

ブルーイノベーションの展示スペースでは、BEP ラインの送電線追従制御技術を紹介するシミュレーターや関連機材、パネル・動画等を展示予定です。送電線点検の効率化や BEP ラインの導入をご検討中の方は、ぜひお立ち寄りください。

【展示概要】
展示会名：スマートファクトリーJapan2026
会期：2026 年 11 月 18 日（水）～20 日（金） 10:00～17:00
会場：東京ビッグサイト 東 3 ホール
展示場所：第 12 回ロボット大賞 合同展示内
小間番号：F-03-07（ブルーイノベーション株式会社）

■ロボット大賞について

「ロボット大賞」は、国内のロボット技術の発展や活用促進などを目的に、優れたロボットや関連技術、

社会実装の取り組み等を表彰する制度です。
公式サイト：https://robotaward.jp/

■BEP ラインに関するお問い合わせ

BEP ラインの導入検討や技術紹介、デモンストレーション等のご相談については、以下よりお問い合わせください。

- BEP ライン ソリューション紹介：
  https://www.blue-i.co.jp/solution/inspection/line 01.html
- 導入・デモ相談：
  https://www.blue-i.co.jp/contact/project/

＊＊＊

■会社概要

ブルーイノベーション株式会社（東京都文京区｜東証 5597）

1999 年 6 月設立。独自の統合プラットフォーム「Blue Earth Platform®（BEP）」を基盤に、ドローン・ロボットを活用した点検、防災、教育、物流の分野でソリューションを開発・提供しています。
老朽化インフラの維持管理や災害対応、人手不足への対応など、さまざまな社会課題の解決に取り組んでいます。
https://www.blue-i.co.jp/

本リリースに関する問い合わせ先

ブルーイノベーション株式会社　経営戦略部　広報・IR チーム
TEL:03-6801-8781｜E-Mail：press@blue-i.co.jp